

団体名	フェアトレードタウン世田谷推進委員会
-----	--------------------

事業計画書

1	事業名称	世田谷エシカル消費・フェアトレード推進プロジェクト
2	(1)事業の目的 協働事業の内容及び実施方法	2030年のSDGs達成に向け、また、2022年4月に改正・施行された「世田谷区地域経済の持続可能な発展条例」第3条1項(4)及び第7条3項に、地域経済の持続可能な発展に関する基本方針として「持続可能生を考慮した事業活動及びエシカル消費(人、社会及び環境に配慮した消費行動をいう。)の推進を図ること」と記載されており、区、事業者、区民及び関係機関にはエシカル消費への取り組みが促されている。当団体は、区内におけるフェアトレードを中心としたエシカル消費の推進を目的に区民や教育機関、関係団体により2019年に設立された。これまで継続してきた活動を区の所管課と協働で行うことにより、さらに広い範囲の区民や関係機関にエシカル消費の知識や意義を伝え、将来的により多くの店舗でエシカルな商品を購入できるようになることで区民が持続可能なものを買える機会を増やすとともに、区内事業者にとっても事業機会の拡大につなげるなど、区内でのエシカル消費推進に貢献することを目的としている。
	(2)事業の内容 *実施体制や実施手法を含めて記入すること。	<p>1) 世田谷おいしいもの巡り (2019年より本団体独自の事業として継続中) 実施期間：シールラリー5月14日-31日 抽選6月 概要：区内飲食店に、対象期間フェアトレードの材料を使った特別メニューを提供してもらい、シールラリーを行う。材料は各店舗が各自用意。利用1店舗1口として応募者から抽選を行い、5名にフェアトレードギフトセットを贈呈。区民に楽しくフェアトレードに触れてもらうと同時に、飲食店もフェアトレードの知識が深められる企画となっている。</p> <p>過去の実績：2019年10店舗、参加271名、応募47名、2021年19店舗、参加381名、応募60名、2022年20店舗参加。</p> <p>2) 世田谷まちチョコ イラストコンテスト (仮) 当団体新規事業 実施期間：9-12月ごろ 概要：フェアトレードのミニチョコの包装袋のイラストを、総合的な学習におけるSDGsの学習や消費生活課による消費者教育の副教材の配布に合わせた学年の小学生(5-6年生)から募集してコンテストを行う。応募する過程でフェアトレードやカカオ豆にまつわる問題(児童労働、労働搾取など)を考える機会となる。募集要項に応募ハガキ(後納郵便)を一体化し制作。審査を経て、入選者のイラストをパッケージにして販売する。パッケージにもバナナペーパーや竹紙など持続可能な製品を使用。区内5地域各1作品を目安にし、将来的には各地域の名物となることを目標とする。商店街にも説明して回り、募集ポスターの掲示を依頼するなど、連携を図る。封入作業は福祉作業所を検討。HPや適宜開催するオンライン交流会でイベントの進捗を報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入賞5作品、各4個入り100パック作成 (チョコレート2000個) ・販売利益は寄付? ・審査員(依頼予定) 商店街関係者、 柿野成美氏(消費者教育支援センター)

[令和4年度提案型協働事業 様式]

		<p>専務理事、昭和女子大学大学院講師）、中原秀樹氏（一般社団法人日本エシカル推進協議会（JEI）会長）、末吉里花氏（一般社団法人エシカル協会代表理事）、大学、まちづくり関係者などへ依頼予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売店 おいしいもの巡りの関係店舗に声かけ or エシカルギフトマルシェ ・ スケジュール（詳細は p22 参照） <p><コンテスト> 8月告知内容決定→チラシデザイン 9月初旬コンテスト告知 10月中旬応募締切・10月下旬審査、発表</p> <p><生産> 8-9月ベースデザイン決定・10月チョコ入荷・11月上旬イラストはめ込み、印刷・11月下旬—12月封入、販売</p>
	(3)新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による事業実施への工夫等	<p>1) おいしいもの巡り 居住地域内での店舗の利用を促す。</p> <p>2) 世田谷まちチョコ イラストコンテスト 特になし</p>
	(4)令和4年度事業完了予定日	2023年2月28日
3 協働の 必要性 及び 役割 分担	(1)区の担当課	経済産業部 消費生活課、商業課、産業連携交流推進課
	(2)協働する意義・必要性	<p>おいしいもの巡り：これまでの2年間は、チラシの配布枚数など、広報予算が限られていたため区民への周知が限定的であったが、区の持つネットワークや、協働事業としての予算を活用してより広い層にフェアトレードをはじめとするエシカル消費を伝えることができる。また、区を経由して商店街に本プロジェクトを紹介できることで、フェアトレード・エシカル消費の必要性を効果的に伝えられ、次年度の参加店舗を増やしたり、商店街単位での参加が期待できる。</p> <p>まちチョココンテストでは、区を通して商店街、福祉機関、教育機関などに働きかけをすることで参加者を増やすことができると考える。また将来的には、世田谷みやげとして展開することを考えており、区の持続可能な経済活動への取り組みの象徴にもなると考える。</p>
	(3)役割	<p>おいしいもの巡り：既存参加店舗への働きかけ、商店街に対するエシカル消費の啓発、消費者（区民）への広報、進行管理、参加店舗や利用素材に関する情報の発信など</p> <p>まちチョコプロジェクト：フェアトレードチョコレートに関する情報発信、コンテストの企画・進行</p>

[令和4年度提案型協働事業 様式]

	分担	区担当課	<p>おいしいもの巡り：商店街に対する本企画の紹介（次年度以降の参加につなげる）、商店街からの意見などの集約、広報支援</p> <p>まちチョコプロジェクト：教育機関、福祉機関などと FTTS をつなぐ仲介、教育機関への応募要領配布、福祉機関との連携など</p>
	(4)地域の団体との連携		<p>事業全体：エシカル消費への興味がある区民や事業者、大学など研究機関、地域商店街</p> <p>商店街への企画紹介→エシカル消費への興味喚起、次年度以降の参加店増加</p> <p>まちチョコプロジェクト：商店街、教育機関、福祉機関との連携</p>
4 協働 の 成 果 ・ 効 果	(1)期待される具体的な成果や区民・地域への波及効果及びその測定方法		<p>(団 体)</p> <p>おいしいもの巡り</p> <p>(区民) 飲食店の利用を通してエシカル消費、フェアトレードに触れ、シールラリーに参加することで各店舗で使われている食材に関する社会的な課題について知り、理解を深められる。</p> <p>(事業者) フェアトレードの食材に触れ、その背景を知ること、飲食店としてのエシカル消費との関わりについて考える機会となる。また、エシカルコンシューマー（倫理的な消費者）と呼ばれる新たな消費者層を顧客として獲得することで、事業のさらなる成長にもつながる。</p> <p><測定方法></p> <p>シールラリー参加者数、応募シートでのアンケート集計、参加店舗へのアンケート（エシカル消費、フェアトレードへの理解の深まり）、参加店舗数の変化</p> <p>世田谷まちチョコプロジェクト</p> <p>(区民) コンテスト応募用紙にエシカル消費やフェアトレードに関する情報を掲載することで、参加者に対してフェアトレードに対する理解を深められる。また、商品購入を通してコンテスト参加者の関係者（商店街、親族、所属機関）にもエシカル消費やフェアトレードの理解が深まるまた、パッケージにバナナペーパーや竹紙など持続可能なものを使用することで、消費生活のさまざまな場所にエシカルな商材が取り入れられることを消費者、事業者に伝えられる。</p> <p><測定方法>応募者数・属性、応募者へのアンケート、チョコ購入者数</p>
			<p>(区担当課)</p> <p>エシカル消費の効果的な推進には、事業者と消費者に同時に普及啓発を行うことが不可欠であるが、本事業は、区民参加型イベントの実施を通じ、事業者へはエシカル消費に関わる契機となるものであり、高い普及啓発効果が期待できる。</p> <p>また、事業者は、新たな消費者層の顧客獲得が期待できることから、より、取り組みに参加しやすくなり、事業者支援の効果も見込まれる。</p> <p>区と協働して、商店街、教育機関、福祉機関との連携をすることにより、広く区民・地域への波及効果も期待できる。</p>
	(2)事業の成果の活用方法、将来の展開		<p>(団 体)</p> <p>区民の間でフェアトレードをはじめとするエシカルな商品の大切さの理解が進み、市場への要望が増えることで、より多くの事業者によるエシカル商材の取り扱いが盛んになる。世田谷の消費活動がエシカルになることで、それを取り扱う産業にも持続可能性が進められ、子どもたちが育ちゆく世田谷の街がさら</p>

		<p>に人と地球にやさしく、フェアネスを大切にした住みやすい街となる。</p> <p>エシカル消費のひとつであるフェアトレードは、児童労働、環境問題、貧困問題、ジェンダー、災害支援、障害者福祉といったエシカル消費の多くの要素を含んでおり、それを商品の一部にラインナップすることは比較的容易なため、事業者にとって取り組みやすいエシカル商材である。事業者がフェアトレードを通して、脱プラ、ゴミ削減、食品ロス、地産地消、福祉、被災地支援など、エシカル消費には様々な可能性があることを知ることで、「消費」を中心に地域の様々な資源の連携を進めることができ、エシカルな街、持続可能性への理解が高い街、世田谷として地域の振興にもつながると考えられる。</p>
		<p>(区担当課)</p> <p>本事業の成果として、エシカル商材の取り扱いが日常的になり、事業者の持続可能な活動が可能となる一方、世田谷みやげとしての展開構想など、区民に身近な取り組みを通じ、広く区内にエシカル消費推進の機運が醸成され、持続可能な社会の実現に向けて大きな前進となることが考えられる。</p>
<p>5 その他</p>	<p>*提案する事業と関連する団体の特徴・専門性や実績、提案や事業実施に向けたアピールなど。</p>	<p>フェアトレードタウン世田谷推進委員会は、フェアトレードをはじめとしたエシカル消費の大切さを思う区民、教育機関、NPO、フェアトレード団体などにより2019年に設立、これまでオフライン・オンラインの勉強会、エシカルマルシェへの協力、大学等のフェアトレードイベントへの登壇や研究への協力などを通して、地域でのエシカル消費の啓発をボランティアとして行ってきた。エシカル消費は、子どもたちが育ちゆく未来の地球環境を守る大きな力と捉えて活動している。</p> <p>区内のオーガニックコットンブランドの老舗メイド・イン・アースや、国内のフェアトレードブランドの第一人者であるピープル・ツリーといったエシカル企業もメンバー。駒沢大学、明治大学、昭和女子大学などのフェアトレード関連ゼミの学生もメンバーとなって活動しており、大学間の連携も行なわれている。</p>

※昨年度に提案型協働事業を実施した団体は、次のページもご記入ください。

※昨年度に提案型協働事業を実施した団体のみご記入ください。

<p>6 昨 年 度 の 世 田 谷 区 提 案 型 協 働 事 業 の 効 果 な ど</p>	<p>(1)昨年度の協働 事業の効 果・実績</p> <p>※昨年度に提案 型協働事業を 実施した団体 のみ記入する こと</p>	
	<p>(2)昨年度の事業 内容と比較 して、新し い点や工夫 した点など</p> <p>※昨年度に提案 型協働事業を 実施した団体 のみ記入する こと</p>	
	<p>(3)協働事業を継 続する理由</p> <p>※昨年度に提案 型協働事業を 実施した団体 のみ記入する こと</p>	

団体名	フェアトレードタウン世田谷推進委員会
-----	--------------------

事業計画書の2

事業実施スケジュール

※適宜、罫線を入れるなどして見やすいように作成してください。

時期	内容
5月	9日～13日 チラシなど広報物納品 14日～31日 スタンプラリー
6月	上旬 抽選、商品送付、アンケート集計
7-8月	世田谷まちチョコ 外袋ベースデザイン、募集要項、チラシ・ポスター作成、募集開始
9月	イラスト受付（～9月30日）
10月	中旬 一般投票、審査、決定、デザイン完成、印刷
11月	チョコレート入荷、封入（～12月上旬）
12月	販売開始（またはギフトマルシェにて販売）

[令和4年度提案型協働事業 様式]

事業収支予算書

【収入】

費目・内容	金額 (円)	積算内訳
補助金	500,000	
チョコレート売上	75,000	@300円 販売各50個計250個程度
合計	575,000	

【支出】

費目・内容	金額 (円)		積算内訳	
	事業予算額	うち補助金申請額		
人件費	おいしいもの巡りコーディネータ	60,000	60,000	おいしいもの：コーディネーター 1500X20HX1名、1500円X10HX2名 おいしいもの：スタッフ 1500X5HX4名 おいしいものサポートメンバー 3000X5名X1日、 まちチョコ：コーディネータ 1500X20HX1名、 1500X10X2名 まちチョコ：スタッフ 1500X8HX3名 スタッフ3000X5名X1日
	おいしいもの巡りスタッフ	30,000	30,000	
	おいしいもの巡りサポートメンバー	15,000	15,000	
	まちちょこ コーディネータ	60,000	60,000	
	まちチョコ スタッフ	36,000	36,000	
	まちチョコ サポートメンバー	15,000	15,000	
	[小計]	216,000	216,000	
報償費	審査員謝礼	30,000	30,000	審査員 10000円X3名 (予定) パッケージ 30円X700 (まもりやま工房予定)
	パッケージ (まちチョコ)	21,000	21,000	
	[小計]	51,000	51,000	
消耗品・備品費	プリンターインク	12,000	12,000	文具：クリアフォルダ、ボールペン、輪ゴム、ポップ立て、封筒 それぞれ22店舗分、
	文具	6,000	6,000	
	景品 (おいしいもの)	10,000	7,000	
	[小計]	28,000	25,000	
複写・印刷費	印刷費 (おいしいもの)	45,000	45,000	おいしいもの：チラシA5判500部5000円、A4判700部6000円、台紙4000円、タウンチラシ10000円、ステッカー20000円 まちチョコ：応募用紙つきチラシ 5円X1万2000部 60000円、バック印刷100円X600個分 (バナナペーパー予定)、シール印刷 20円X600枚 12000円
	印刷費 (まちチョコ)	72,000	72,000	
	バック印刷費 (まちチョコ)	60,000	60,000	
	[小計]	177,000	177,000	
郵送・広告・保険料	郵便代	5,000	5,000	チラシなど配送分 後納郵便：コンテスト応募ハガキ 68円X100通
	郵便代・配送費	5,000	5,000	
	後納郵便	7,000	7,000	
	[小計]	17,000	17,000	
使用料・賃借料	仕分け作業室料	2,000	2,000	
	まちチョコ 審査室料	2,000	2,000	
	[小計]	4,000	4,000	
交通費	交通費	10,000	10,000	備品配布・回収など
	[小計]	10,000	10,000	
その他	チョコレート	72,000	0	チョコレート 400個入り12000円 6箱 (2400個) 購入 600セット制作
	[小計]	72,000	0	
合計	575,000	500,000		

☆この事業収支予算書は、今回提案する事業に要する予算を記入するものです。団体の年間予算を書くものではありません。

☆日常の運営経費 (団体等の日常運営の人件費、事務所賃借料、光熱水費、日常運営に要する消耗品・備品費等) は対象外です。

団体の概要

団体名	フェアトレードタウン世田谷推進委員会				
所在地	世田谷区南烏山 6-6-5-3F フリー・ザ・チルドレン・ジャパン (FTCJ) 内	電話番号	03-6321-8948 (FTCJ)		
		FAX	03-6323-6504 (FTCJ)		
代表者氏名	ジェームズ・ミニー		役職	代表理事	
事業責任者 ※住所、電話番号・FAX、Eメールは公開しません。	氏名	田中理帆		役職	事務局担当
	住所	[REDACTED]			
	電話番号	[REDACTED]			
	FAX	[REDACTED]			
	Eメール	[REDACTED]			
設立年月 (活動開始年月)	2019 年 4 月 (特定非営利活動法人設立: 年 月)				
役員等の構成 及び社員数 (会員数)	<p>理事 ジェームズ・ミニー (フェアトレードカンパニー株式会社) (代表理事) 金城信道 (玉川聖学院 中等部・高等部 事務長) 中島早苗 (NPO 法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 代表) 事務局 田中理帆 (フェアトレードガーデン世田谷) 寶田隼人 (パタゴニア東京・二子玉川)</p> <p>会計: 中村由紀子 監事: 見城佐知子</p> <p>関係団体: フェアトレードカンパニー株式会社、メイド・イン・アース、 日本ケニア交友会、パタゴニア東京・二子玉川、 株式会社シュケット、パクパク・ナティン、 玉川聖学院 中等部・高等部</p> <p>正規会員: 15 名 (団体)</p> <p>協力大学 5 大学 (駒沢大学山中ゼミ学生、明治大学小田ゼミ学生、昭和女子大学フェアトレードサークル、産業能率大学フェアトレードサークル sannno fair friends、日本大学ボランティアサークル salamat”A”)</p>				
主な活動分野	消費者教育、エシカル消費・フェアトレード啓発、国際協力。 フェアトレードをツールとした地域連携				

<p>主な活動実績</p> <p>*行政との協働の実績を含む。</p>	<p>2017-2019</p> <p>フェアトレードタウン世田谷推進委員会の母体であるフェアトレードガーデン世田谷消費生活課 夏休み親子教室 登壇</p>
	<p>2018.</p> <p>11月 世田谷産業フェスタ出展</p> <p>12月 世田谷区立中央図書館特設コーナー エシカル消費展示協力</p>
	<p>2019.</p> <p>4月 フェアトレードタウン世田谷推進委員会発足</p> <p>5.18 第1回勉強会@世田谷文化生活情報センター 「フェアトレードタウンを知ろう」参加者30名 ゲストスピーカー 谷内田絢子さん NPO法人ジャパン・プラットフォーム 胤森なお子さん 一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム (FTFJ) 代表理事</p> <p>7.12 第2回勉強会@玉川聖学院 「大都市のフェアトレードタウン運動を学ぶ～名古屋～」 ゲストスピーカー 原田さとみさん NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク(FTNN)理事</p> <p>9.15 フェアトレードファッションショー衣装提供@玉川聖学院文化祭</p> <p>10.8 第3回勉強会@下北沢タウンホール 「SDGs × 消費者の意識改革 = エシカル ～エシカル消費が実現するSDGsと循環型社会～」 ゲストスピーカー 中原秀樹さん 東京都市大学名誉教授 日本エシカル推進協議会会長</p> <p>10.26 世田谷産業フェスタ2019出展 フェアトレードのクイズと物品販売</p> <p>11.17 消費生活課 せたがやエシカル消費展@世田谷産業プラザ 消費生活課の依頼によりフェアトレードガーデン世田谷が出展団体を紹介した。 フェアトレードタウン世田谷推進委員会メンバー団体が参加。</p>
	<p>2020</p> <p>2月 世田谷区消費生活課 展示協力 「はじめよう！ エシカル消費」@世田谷区役所第1庁舎 区政PRコーナー</p> <p>3-7月 世田谷区立中央図書館 特設コーナー展示協力 「エシカル消費・フェアトレード」</p> <p>3月 世田谷区産業振興基本条例検討会議 委員</p> <p>5月 世界フェアトレード月間イベント@キャロットタワー (コロナのため中止) 「エシカルな暮らしが未来をつなぐ」 共催：世田谷区消費生活課</p> <p>5月 世田谷おいしいもの巡り2019 参加10店舗、参加者271名、応募47名</p> <p>11月 世田谷区主催『食品ロス・食品廃棄物』展示イベント@三軒茶屋パティオ</p>
	<p>2021年</p> <p>3-4月 世田谷サステナブル・ラボ Vol.1 オーガニックコットンとメイド・イン・アース 前田剛さん Vol.2 ファッションとサステナビリティ 根本亜希子さん</p> <p>5月 世田谷おいしいもの巡り2021 参加19店舗 参加者381名、応募60名</p> <p>5月 フェアトレードタウン世田谷推進委員会 オリジナルドリップコーヒー販売開始 焙煎 社会福祉法人かしの木会 まもりやま工房</p> <p>6月 SETAGAYA PORT LABO 登壇</p>

[令和4年度提案型協働事業 様式]

	<p>7月 祖師谷コワーキングスペース Work&Play Soshigaya 棚ショップにて フェアトレード商品販売開始</p> <p>9月 29日 フェアトレードむさしの オンラインイベント 「地域にねぎしたフェアトレード」登壇</p> <p>10月 Grow up! SETAGAYA せたがやそだち加工品ビジネスプランコンテスト 審査員 世田谷区経済産業部・都市農業課</p> <p>11月 昭和女子大学フェアトレードサークル発足 オンラインイベント登壇</p> <p>11月 bajico (馬事公苑界わいコミュニティデザインプロジェクト) シャルソン参加</p> <p>12月 SETAGAYA PORT 主催 エシカルギフトマルシェ@三軒茶屋ふれあい広場 企画協力、出展</p> <p>2022年</p> <p>2月 三菱東京 UFJ 銀行 社内社会貢献プロジェクト フェアトレードの啓発活動にて チョコレート 400 個の配布協力 (区内の親子支援施設、子ども食堂、児童相談所など)</p> <p>3月 二子玉川小学校出前授業にて講演</p> <p>3月 三軒茶屋小学校 PTA 主催 エシカルで行こう！ 商品提供</p> <p>3月 スフィーダ世田谷との連携開始 試合会場にてフェアトレード商品の販売、書籍展示等</p> <p>5月 世田谷ポータルランド都市交流協会主催 People's Market 出店</p>
<p>団体の ホームページ</p>	<p>https://fttsetagaya.com/</p>